

猫魔スキー場—雄国沼—雄国岳—雄子沢

1995. 4/2 快晴 ミチガクラング 11名 車高橋会

今日は、朝から快晴で絶好のスキー日和だ。この会に入会して、クロスカントリースキーを購入、田島の10KM豪雪休暇村の10KMに参加した。この会は、クロカンが多く、山スキーは、始めてだ。

猫魔スキー場に車一台残し他の車は、雄子沢の部落に駐車した。11名のうちクロカンのスキー6名、山スキー5名だ。右からニ番目のクロフトリート終点が1340Mの台地だ。昨夜五六センチの新雪が積もり、樹木の枝に雪が着き美しい。平均斜度10度位のまばらなブナ林が沼まで続いている。草原地帯なら一気に滑って二十分位で沼に着きそうだ。团体だと何時も軽佻たりして時間かかる。登たり斜面滑降で多くターンペーパーで時間を取る。沼は氷結しているがはっきりわかり山小屋も見えてもう心配はない。湖畔の山小屋に着くのが遅れた。

行動会員と休憩、記念写真を撮り二班に分かれ。雄子沢の左岸の要道を滑る4人。雄国山に登り北北東に連なる。広い尾根を滑り雄子沢部落をめざす4人。

シールを着け登行一人は、クロカンのスキーで開脚登行。二十分で頂上に着く。

東に安達太良連峰、北には吾妻連峰、西には喜多方の町、その上には、一段と高く飯豊連峰 160度の眺めがすばらしい。広い独立木の緩斜面を滑る。右の1164Mの広い尾根の左側を滑り1050M地点の杉の植林地に着く。地図を見るとここから地形が複雑だ。以前二、三回滑った人にしたがい右に滑り降りる。急斜面の尾根に出てしまった。

谷に降りた尾根を越える。女性二人が苦労している。

ツツジ林の奥へ後から斜面を二、三十メートル滑り降りたと
林道らしい道にでる。すぐ下には中道が見える。一人が林
道に滑り降りたので私も滑り降りる。荷物をテントで雄子沢
の部落まで歩いて行く手はここ待つ雄子沢が沼に窪小こも
地だ。一時間以上待つとようやく車が来た。豪道を歩いた人
も二時間近く待つらしい。

雄子沢の部落では斜度が高く滑り下り林道滑走で時間
かかかづらいい。このコースは、途中で道路を降りた方が楽だ。

(馬場記)

コースタイム

リフト終点 10:10~10:20 → 山小屋 12:00~12:30 →
雄国山 13:00~13:30 → 樹木植林地 14:30 → 道路 16:00



ルート図

